

海外日本語教師研修プログラム

申請要領

このプログラムは、海外の日本語教育機関の教師養成のため、日本語教師を国際交流基金日本語国際センター(埼玉県さいたま市浦和区北浦和)に招へいし、日本語教授法や日本語運用力の向上のための集中的な研修を行うものです。

1. 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関(個人からの申請は受け付けません。)

なお、中国の機関(香港、マカオを除く)は別プログラム(中国(大学)、(中等学校)日本語教師研修)で対応するので申請できません。

2. プログラム概要

海外日本語教師研修には以下の2種類のプログラムがあります。それぞれ目的、対象者、研修内容が異なりますので注意してください。

-海外日本語教師長期研修

-海外日本語教師短期研修

(1) 海外日本語教師長期研修

日本語教授経験の短い若手外国人日本語教師を対象に、日本語、基礎的な日本語教授法及び日本事情の研修を行います。

ア. 期間:

2012年(平成24年)9月11日(火) - 2013年(平成25年)3月8日(金)(予定)

イ. 参加者の要件:

研修に参加できる者は、次に掲げる要件をすべて満たしていなければなりません。

ア) 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、現在学生の者や、日本語教師として教育実習中の者は対象としない。

イ) 2011年(平成23年)12月1日現在、日本語教授歴として、6か月以上5年未満の経験を有していること。(個人教授期間は含まない。)

ウ) 2006年(平成18年)4月から2011年(平成23年)12月1日までに国際交流基金(以下「基金」)、日本の大学等において2か月間以上継続して日本語教師研修を受講していないこと。

JENESYS(21世紀東アジア青少年大交流計画)南アジア/東アジア若手日本語教師特別招へい研修プログラム参加経験者は申請可。

- エ) 過去に日本語国際センターの海外日本語教師研修<短期>、海外日本語教師上級研修、又は日本語教育指導者養成プログラム(修士課程)に参加していないこと。
- オ) 申請時点で日本語能力試験N4(旧日本語能力試験3級)以上程度の日本語能力を有していること。
なお、今までに日本語能力試験又は新日本語能力試験を受験したことのない候補者は、別紙の日本語力自己診断テストを自分で解いて、その採点結果を申請書の所定の欄に記入すること。
- カ) 2011年(平成23年)12月1日現在、満35歳以下であること。
- キ) 日本の義務教育(小学校・中学校9年間)を修了した者でないこと。
- ク) 日本と国交のある国の国籍を有すること。ただし、台湾の方も申請可能です。
- ケ) 心身ともに健康であること。

ウ. 研修内容(例):

ア) 授業

- ・ 日本語

授業を通して中・上級の日本語運用能力をつけることを目標とします。また、日本語を教えるのに必要な日本語の分析力を身に付けることを目指します。

科目例(総合日本語、会話、読解、文法)

- ・ 日本語教授法

基礎的な日本語教授法の理論と教授技術の向上を目標とします。

イ) 日本文化体験プログラム

研修旅行、ホームステイ、地域との交流(小学校訪問等)、茶道・生け花・書道等のデモンストレーション、演劇鑑賞等。

エ. 採用人数:

約55名

2011年度(平成23年度)実績 採用59名/応募192名

(2) 海外日本語教師短期研修

日本語教師として2年以上の教授経験を持つ外国人日本語教師を対象に、約2か月間、日本語と日本語教授法の集中研修を行います。

ア. 期間:

研修は以下の3時期にそれぞれ2か月間行われます。初等教育、中等教育、年少者教育にたずさわる教師は春期と夏期、高等教育、一般成人教育にたずさわる教師は夏期と冬期にのみ申請できますので注意してください。

ア) 春期 2012年(平成24年)5月9日(水) - 6月29日(金)(予定)

初等教育、中等教育、年少者教育にたずさわる教師を対象とします。

- イ) 夏期 2012年(平成24年)7月11日(水) - 8月31日(金)(予定)
初等教育、中等教育、年少者教育にたずさわる教師と高等教育、一般成人教育にたずさわる教師を対象とします。
- ウ) 冬期 2013年(平成25年)1月23日(水) - 3月15日(金)(予定)
高等教育、一般成人教育にたずさわる教師を対象とします。

イ. 参加者の要件:

研修に参加できる者は、次に掲げる要件をすべて満たしていなければなりません。

- ア) 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、現在学生の者や、日本語教師として教育実習中の者は対象としない。
- イ) 2011年(平成23年)12月1日現在、日本語教授歴2年以上であること。(個人教授期間は含まない。)
- ウ) 2006年(平成18年)4月から2011年(平成23年)12月1日までに基金、日本の大学等において2か月間以上継続して日本語教師研修(海外日本語教師研修<短期>を含む。)を受講していないこと。JENESYS(21世紀東アジア青少年大交流計画)南アジア/東アジア若手日本語教師特別招へい研修プログラム参加経験者は申請可。なお、平成18年度(2006年度)以降の海外日本語教師長期研修において、「日本語国際センター所長賞」を受賞した者に対しては、本制限条項の適用を免除する。該当者は申請書提出の際に、所長賞受賞通知の写しを添付すること。
- エ) 申請時点で日本語能力試験N4(旧日本語能力試験3級)程度以上の日本語能力を有していること。(日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5:認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>を参照。)
なお、今までに日本語能力試験又は新日本語能力試験を受験したことのない候補者は、別紙の日本語力自己診断テストを自分で解いて、その採点結果を申請書の所定の欄に記入すること。
- オ) 2011年(平成23年)12月1日現在、満55歳以下であること。
- カ) 日本の義務教育(小学校・中学校9年間)を修了した者でないこと。
- キ) 日本と国交のある国の国籍を有すること。ただし、台湾の方も申請可能です。
- ク) 心身ともに健康であること。

ウ. 研修内容(例):

- イ) 授業
来日後のプレースメントテストの結果により、次の二つのコースに分けて授業を行います。ただし、諸事情により、一方のコースのみで実施されることもあります。
 - Aコース
研修参加者自身の日本語運用能力を伸ばすことに重点を置き、日常的な場面のみならず、より広範な場面、トピックを扱えるようになることを目的とします。
 - Bコース
日常会話のみならず説明、叙述、議論など、より高度な日本語運用力をつけることを目標とします。

また、日本語教授法の授業では「模擬授業」など実践的な活動を通して、自分の教授環境のための最適な教育方法について考えます。

(一週間あたりの時間数例)

	Aコース	Bコース
日本語	16時間	12時間
日本語教授法	3時間	7時間
日本事情	2時間	2時間

ロ) 日本文化体験プログラム

ホームステイ、地域との交流(小学校訪問等)、茶道・生け花・書道等のデモンストレーション、演劇鑑賞等。なお、希望者は研修終了後に研修旅行に参加できます。

エ. 採用人数:

約 140 名(春期、夏期、冬期合計)

2011 年度(平成 23 年度)実績 採用 141 名 / 応募 344 名

3. 日本語国際センター負担経費

日本語国際センターの規定に基づき以下の経費を負担します。

(1) 次に掲げる地域に所在する国の国籍を有する者には、居住地最寄り国際空港からの往復航空券(原則として、ディスカウント・エコミークラス)、出国税及び空港利用税、研修補助費(来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費及び通信費等を現物で支給)。

アジア・大洋州地域(韓国、台湾、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く。ただし、中国・香港は英国 BNO 旅券及び香港 SAR 旅券保持者を、中国・マカオはマカオ SAR 旅券保持者を、それぞれ除く)、中南米地域(パハマを除く)、東欧地域、中東・北アフリカ地域(アラブ首長国連邦、イスラエル、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く)、アフリカ地域

* 上記の地域以外の出身者は、参加者本人が航空券及び研修補助費等を負担。

(2) 日本語国際センター内の宿舎(シングルルーム)

(3) 研修期間中の食事

日本語国際センターは研修参加者に対し、朝食・昼食・夕食を現物又は現金で支給します。

(4) 研修に参加するための必要経費(教材費等)

(5) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付与(補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外)

4. 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らねばなりません。

(1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。

(2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的(宗教的あるいは政治的目的等)に利用しないこと。

(3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、日本語国際センターの指示に従って、すべての研修活動に参加すること。

- (4) 原則として、研修期間の開始より前に来日しないこと。
- (5) 原則として、研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。
- (6) 日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。
- (7) 家族を同伴しないこと

5. 申請手続

- (1) 申請書は 2011年(平成23年)12月1日必着で最寄の基金海外拠点又は在外日本公館に提出して下さい。台湾については、(財)交流協会の台北事務所に提出して下さい。
- (2) この申請用紙は全部で7ページです。申請する際には、この申請書の原本及びそのコピー1部を、それぞれホッチキス止めの上、提出して下さい。また必ず申請者本人の控えとしてコピーを手元に残しておいて下さい。

6. 申請書記入上の注意

「海外日本語教師長期研修」及び「海外日本語教師短期研修」の候補者の中で、日本語能力試験もしくは新日本語能力試験を過去に受験したことのない候補者は、必ず本申請要領に別添された「日本語力自己診断テスト」を自分で解き、その採点結果を申請書の所定の欄に記入してください。記入がない場合は、申請が無効になる場合がありますので、注意してください。

7. 選考方針(長期・短期 共通)

申請資格を満たしている候補者に対して、研修の(1)必要性、(2)有効性、(3)効率性の3つの観点から審査します。

(1)に関しては、当該国での日本語教授研修の重要性、また基金の日本語事業計画を実施する上での必要性等の点から評価します。

(2)は申請者個人の日本語教育界におけるポジション、学内外での影響力等によって審査します。

(3)に関しては、申請者本人の日本語運用能力、教授経験、日本での学習歴、作文能力等から研修の効率性を審査します。

8. 申請受理通知

申請書の受理通知を希望する申請者は、はがきに返信用切手を添付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書に同封してください。基金海外拠点・在外日本公館の担当者が申請書を受領したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは、返送しませんので、ご注意ください。

9. 審査・合否通知

日本語国際センターで審査を行い、2012年(平成24年)4月中に結果を各申請者に通知します。また、審査に際しては、当該国での日本語研修会や日本語教師養成等、日本語教育支援活動への取り組みが積極的な機関を優先します。

なお採否理由などについてのお問い合わせには一切応じられませんのでご了承下さい。

10. 事業に関する情報の公開

- (1) 採用された場合、申請機関の名称等の情報は、「国際交流基金日本語国際センター事業報告」及び基

金ホームページ、その他の広報資料において公表されます。

- (2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(平成13年法律第140号)に基づく開示請求が基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類等は開示されません。

11. 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者にお伝えくださるようお願いいたします。

- (1) 基金は、2005年(平成17年)4月1日に施行された「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。基金の個人情報保護への取り組みについては、以下のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jpff.go.jp/j/privacy/>
- (2) 提出された申請書及び関連書類は一切返却いたしません。
- (3) 申請書に記入される連絡先に、他の基金事業についてご案内をお送りすることがあります。
- (4) 採否審査のため、申請書及び推薦書を外部有識者等に提供することがあります。
- (5) 採用された場合、研修参加者の氏名、国名、性別、所属機関、研修期間等に関する情報を研修実施案内に公表するほか、日本語国際センター事業報告、事業実績、ホームページ等に公表することがあります。また統計資料を作成し国際交流基金年報、事業実績、ホームページ等に掲載するために利用します。
- (6) 事業評価及び学術研究の統計資料作成のため、採用者及び所属機関の情報を利用することがあります。
- (7) 研修実施のため、採用者の氏名、国名、性別、生年月日、自宅住所、所属機関、研修期間等に関する情報を以下の機関に提供します。
 - ・ 日本国外務省及び関連各在外日本公館(ビザ手配及び参加関連書類送付のため)
 - ・ 保険会社及びその代理店(海外旅行傷害保険加入のため)
 - ・ 関係各航空会社(航空券手配のため)
 - ・ 関係自治体、文化・教育団体及びホストファミリー(各種文化プログラム実施のため)
 - ・ 関係国内運送会社、宿泊施設等(研修旅行等の実施のため)
- (8) 本研修に応募された方は、上記目的での個人情報の利用に同意したものとみなします。

**海外日本語教師研修プログラム
申請書**

**TRAINING PROGRAMS FOR TEACHERS OF THE
JAPANESE-LANGUAGE APPLICATION FORM**

NC-JT

2012 年度(平成 24 年度)用
For Fiscal 2012-2013

国際交流基金

申請書を国際交流基金(以下「基金」という。)の海外拠点又は在外公館に提出してください。台湾所在の機関は(財)交流協会の台北事務所提出してください。基金本部・附属機関では海外からの申請を受け付けません。また、海外拠点又は在外公館に申請する旨を事前に連絡していない場合は、申請書を提出しても無効となることがあります。インターネットやメールによる申請書の提出は受け付けません。タイプライター又はボールペンを用いて活字で記入してください。

Applications should be submitted to the Japan Foundation office in your country, or, if the Japan Foundation has no office in your country, the nearest diplomatic mission of Japan. In Taiwan, applications must be submitted to the Interchange Association, Japan, Taipei office. The Japan Foundation Headquarters in Tokyo and affiliated organizations will not accept applications from overseas applicants. It is also necessary to contact the overseas agency mentioned above to inform them of your intention to apply in advance of submitting your application. Applications will not be accepted through the Internet or by e-mail. This application form should either be typed or handwritten using block letters with a ball-point pen in black ink.

国際交流基金日本語国際センター所長殿

To the Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

年 月 日
Year Month Day

私は平成 24 年度海外日本語教師研修に下記の者を参加させたく申請いたします。

I hereby elect the person named below to participate in the 2012-2013 Training Programs for Teachers of the Japanese-Language.

機関名 _____ 代表者署名 _____
Name of Institution Signature of the Representative of the Institution

代表者氏名 _____
Name of the Representative of the Institution

申請プログラム Type of Program (該当するプログラムの <input type="checkbox"/> に一つだけ印を付けてください。Please check one.)	
<input type="checkbox"/> 海外日本語教師長期研修 LONG-TERM TRAINING PROGRAM FOR FOREIGN TEACHERS OF THE JAPANESE-LANGUAGE	
<input type="checkbox"/> 海外日本語教師短期研修 SHORT-TERM TRAINING PROGRAM FOR FOREIGN TEACHERS OF THE JAPANESE-LANGUAGE () に優先順位の番号 (1, 2) を書き入れてください。希望通りの時期で採用されない場合もあります。 Please indicate the order of your preference (1 or, 2). Please note that the Institute may be obliged to offer a course other than your preference.	
初等教育、中等教育、年少者教育の教師の場合 For teachers engaged in primary and secondary education, and those who teach younger children () 春期 Spring Course () 夏期 Summer Course	高等教育、一般成人教育の教師の場合 For teachers engaged in higher education and adult education () 夏期 Summer Course () 冬期 Winter Course

候補者(以下は候補者が記入のこと。なお、申請書に記入される個人情報の利用目的については、申請要領の「11. 個人情報の取扱い」をご覧ください。) CANDIDATE The following form should be filled in by the candidate. For details on the use of personal information included in the application form and attached documents, please see "11. Handling of Personal Information" in the Application Instructions.)

氏名 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓 Last Name	名 First Name				
	ローマ字 In Roman alphabet						
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in Roman alphabet						
性別 Sex	<input type="checkbox"/> 女 Female	生年月日 Date of Birth	19 年 月 日 Year Month Day	年齢 Age	2011 年 12 月 1 日現在 As of December 1, 2011 歳	国籍 Nationality	
	<input type="checkbox"/> 男 Male						
連絡可能な住所(ローマ字) Contact Address (in Roman alphabet)							
Tel.		Fax.		E-Mail.			
所属日本語教育機関名 Affiliated Institution		部門名 Faculty/ Department/ Program, etc.		地位 Position		常勤/非常勤 Full time or Part time	
漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana							
英語 In English							
原語 In Native Language							
所属日本語教育機関住所 Address of Affiliated Institution							
Tel.			Fax.				

最終学歴 Last school attended	機関名 Name of institution				取得地 Location	
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred		専攻 Major	
学位修得論文タイトル(修士号、博士号 を取得の場合には必ず記入してください) Thesis title (Required for applicants who have obtained their Masters or Doctoral degrees)						

日本で義務教育を修了しましたか？ はい いいえ
Did you complete your compulsory education in Japan? Yes No

日本語学習歴 Previous Japanese language study	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
日本以外での日本語教師 研修受講歴 Training programs for Japanese language teachers undertaken outside of Japan	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
日本語教授歴 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Student 年齢 Age レベル Level	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
合計 In total 年 ヶ月 Years Months	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			

	科目名 Subject Taught	対象者 Student		担当時間数(週・年) Loading Hours Week/Year	使用教材 Textbook
		年齢 Age	人数 Number		
現在の担当科目 Japanese classes currently taught				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
日本語以外の 担当科目 Subjects currently taught aside from Japanese				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
国際交流基金日本語能力試験 The Japan Foundation Japanese-Language Proficiency Test		受験年 Test Year		取得級 Passing Grade	認定番号 Certificate Number
日本語力自己診断テスト結果 Score from the Japanese Proficiency Self-Check Test		文字・語彙 Writing-Vocabulary /25		読解・文法 Reading-Grammar /40	合計 Total /65
日本滞在歴 *国際交流基金での研修を 含む Previous stay in Japan including Programs at the Japan Foundation	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント・当センター研修会 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)		
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				

授業以外での日本語教育への貢献 Your contribution to Japanese language teaching outside class activities

授業以外での日本語教育への貢献があれば具体的に記入してください。(例:開発した教材、日本語教育についての学会・セミナー発表、日本語教師会等での活動歴等)

Please write in the space below, if you are making (or have made) a contribution to Japanese language teaching in your country outside of class activities (For example, teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers or other activities, etc.).

自分に当てはまると思う項目全てに✓をつけてください。

Please check ✓ all items that apply.

<p>聞く Listening</p>	<p><input type="checkbox"/> 幅広い話題の議論や専門の講義もあまり問題なく理解できる。 I have no difficulty in understanding discussions about a wide range of topics and specialized lectures.</p> <p><input type="checkbox"/> いろいろなトピックのニュース、映画の内容がほとんど理解できる。 I can understand most movies and TV news covering a variety of topics.</p> <p><input type="checkbox"/> 仕事や生活の場面でよく話題にのぼる話やテレビ番組の内容がだいたい理解できる。 I can understand most of the speech on familiar matters regularly encountered in work and daily life, and the content of TV programs.</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の仕事や生活に関してよく使われることばや表現を聞いて理解できる。 I can understand phrases and expressions frequently used in relation to my work and daily life when I hear them.</p> <p><input type="checkbox"/> ゆっくり話してもらえば、自分のことや生活などに関してよく使われることばや基本的なことばが理解できる。 I can recognize basic phrases and familiar words concerning myself and daily life when people speak slowly.</p>
<p>読む Reading</p>	<p><input type="checkbox"/> 自分の専門に関する長い論文や複雑な小説の内容が理解できる。 I can understand the contents of complex novels and long essays related to my field of specialization.</p> <p><input type="checkbox"/> 書いた人の意見や立場がわかる記事やレポート、簡単な小説が理解できる。 I can understand articles and reports in which the writers adopt particular attitudes or viewpoints. I can understand simple novels.</p> <p><input type="checkbox"/> 身近な話題について書かれた、決まった形の文章や手紙が理解できる。 I can understand texts and letters that consist mainly of high frequency everyday language, and which relate to familiar topics.</p> <p><input type="checkbox"/> 短い、簡単な文が理解でき、必要なものや時間などの大事な情報を探することができる。 I can understand short, simple texts. I can find important, required information such as time.</p> <p><input type="checkbox"/> メニューやウェブサイトなどを見て、よく知っているものや人の名前、簡単なことばがわかる。 When I look at material such as menus and websites, I can understand familiar items and names, as well as simple phrases.</p>
<p>話す Spoken production</p>	<p><input type="checkbox"/> 研究会などで専門的な話題や複雑な話題について論理的な構成で話すことができる。 At seminars and other events, I can talk about specialized subjects and complex subjects using a logical structure.</p> <p><input type="checkbox"/> 関心のある内容について、くわしく説明したり意見やその理由を言うことができる。 I can present detailed descriptions and my viewpoint, and give reasons for my opinions on subjects related to my fields of interest.</p> <p><input type="checkbox"/> 経験やこれからの予定、やりたいことなどを、基本的な接続のことばを使って説明することができる。 I can connect phrases in a simple way in order to describe my background, future plans and ambitions.</p> <p><input type="checkbox"/> 家族や周囲の人々のこと、これまでの経験などを簡単なことばや文で説明することができる。 I can use simple phrases and sentences to describe my family and other people around me, as well as my background.</p> <p><input type="checkbox"/> 自分やよく知っている人について簡単なことばで話すことができる。 I can use simple phrases to talk about myself and people I know well.</p>
<p>会話する (やりとり) Spoken interaction</p>	<p><input type="checkbox"/> 人間関係に配慮しながら、様々な立場の人となめらかで自然な会話や議論ができる。 I can participate in conversations and discussions smoothly and naturally with people from various walks of life, with consideration for interpersonal relations.</p> <p><input type="checkbox"/> いろいろな話題の会話に途中から入って、自分の意見を言ったり普通にやり取りができる。 I can enter unprepared into conversation on a variety of topics, presenting my own views and interacting normally with people.</p> <p><input type="checkbox"/> 日常生活の様々な場面で、家族、趣味、仕事など身近な話題の会話を続けることができる。 I can sustain conversations on familiar topics relating to my family, hobbies, and work, within various social settings in daily life.</p> <p><input type="checkbox"/> 自分のことや仕事などについて、簡単で具体的な情報のやりとりができる。 I can communicate simple and concrete information related to myself and my work.</p> <p><input type="checkbox"/> 相手がゆっくり話してくれれば、自分のことについて簡単なやりとりができる。 When the other party speaks slowly, I can participate in simple communication about myself.</p>
<p>書く Writing</p>	<p><input type="checkbox"/> 重要だと思ふ点を強調した複雑な内容を、読む人にわかりやすい構成にして、手紙や論文が書ける。 I can write letters and essays with a structure that highlights significant points, and which helps the recipient to understand complex content.</p> <p><input type="checkbox"/> 興味のあるいろいろな話題について、読む人にわかりやすく、くわしく説明したり自分の意見やその理由を書くことができる。 I can write clear, detailed texts on various subjects related to my interests, explaining my views and giving reasons to support my opinions.</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の関心のある話題や旅行での経験や印象などを、短いまとまった文章で書くことができる。 I can write short summaries on topics of personal interest, or descriptions of travel experiences and impressions.</p> <p><input type="checkbox"/> 簡単な内容の伝言や、友達への短い手紙を書くことができる。 I can write simple messages and short letters to friends.</p> <p><input type="checkbox"/> 誕生日や新年などの時、「おめでとう」「ありがとう」などの決まったあいさつのカードを書くことができる。 For occasions such as birthdays and the New Year, I can write cards with specific greeting messages such as "Congratulations" and "Thank you."</p>

申請機関の概要 Outline of the Institution

できれば機関の紹介パンフレットなどを添付してください。

Please attach some general information on your institution (introductory brochure, etc.).

機関及び日本語コースの設立の経緯と歴史 History of the Institution and the Japanese Language Course
日本語コースの概要(修学年限、週あたり授業時間数、学習者数等を記入して下さい。) Outline of the Japanese Language Course (state the length of the course, hours of study per week, the number of students.)
学年歴(授業の開始月、修了月及び学期区分を記入して下さい。) Term / Semester (state the beginning and end of each term or semester.)

学生の構成 Attributes of Students AかBのいずれかを選び、 <input type="checkbox"/> に印を付けて下さい。 Please choose A or B and check all appropriate boxes.
A. 学校教育の場合 Formal Institutional education <input type="checkbox"/> 小学生 Primary-school students <input type="checkbox"/> 中学生・高校生 Secondary-school students <input type="checkbox"/> 大学生 University/College students
B. 学校教育以外の場合 Education other than formal institutional education <input type="checkbox"/> 年少者(小・中・高校生を含む) Children <input type="checkbox"/> 成人(大学生含む) Adults

日本語教育スタッフ (候補者を含め全員記入して下さい) Staff of the Japanese Language Course including the candidate.

氏名 Name	地位 Position	専任・非専任 Full-time or Part-time	年齢 Age	日本語教授年数 Experience as a Japanese language teacher	対象者数 Number of students	週あたり時間数 Hours per week	年時間数 Hours per year	国際交流基金 研修参加年 Year of participation in JF Program, if applicable

